

拠点形成活動 情報基盤、評価システム、国際交流

知識創造場の評価システム

代表者：中森 義輝（知識科学研究科長・教授）

活動内容

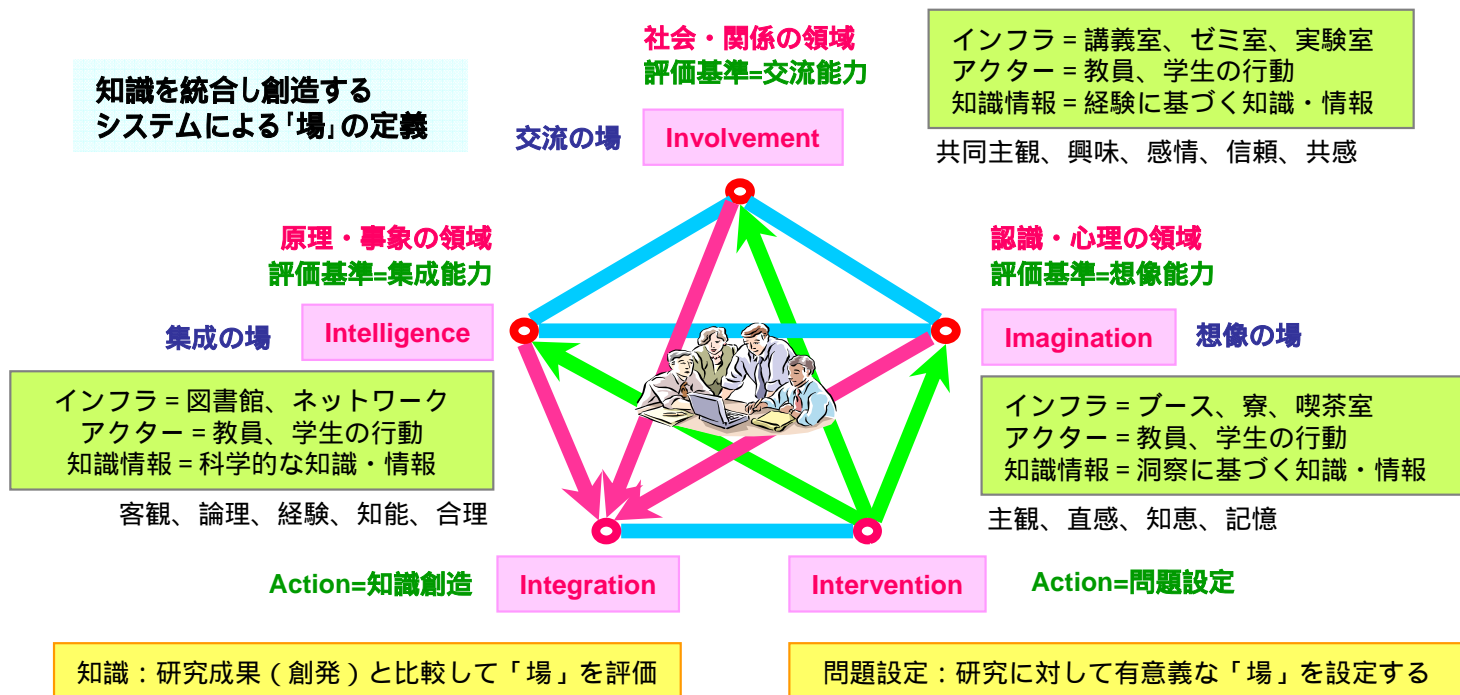
- 科学技術開発の「良い場」の検討とシステム概念を用いた知識創造場の再設計を試みる -

本学・知識科学研究科は知識を科学の目標とする世界発の研究科である。ここでのナレッジ・マネジメント研究は、知識変換理論、知識体系化手法、創造性開発のための方法などの領域で既にいくつかの成果を挙げている。

しかし最近、知識科学は自然科学分野の研究者が創造的な結果を得ることをサポートすべきであるという声があがっている。そのために、本プロジェクトは、科学技術開発における「良い場」とはどのようなものであるかを検討している。特に、野中郁次郎氏（現 一橋大学 名誉教授）によって与えられた「場」の定義をシステム概念を使用することで知識創造場を再設計することを試みている*。それを用いて、技術創造のために大学院等研究機関における「場」を評価するためのシステム方法論を開発している。

*参考文献して

Yoshiteru Nakamori: Designing, Utilizing and Evaluating Technology-creating Ba in a Japanese Scientific Research Institution. Systems Research and Behavioral Science, Vol.23, pp.3-19, 2006.



研究メンバー

- 小林 俊哉 （科学技術開発戦略センター 准教授）
- 小坂 満隆 （科学技術開発戦略センター 客員教授）
- 高木 昌宏 （マテリアルサイエンス研究科 教授）
- 菊池 智子 （科学技術開発戦略センター ポスドク研究員）
- 日本能率協会コンサルティング